

子育て支援情報紙

えんぜる

第313号



令和 6年 6月 1日
足寄町教育委員会
TEL 0156-25-3188
☛バックナンバーはこちら

6月

子育て支援カレンダー

紙 面

二面・・・保護者の目線で情報『大好き足寄のイチゴ』
三面・・・子育てエッセイ・休憩室・ひよこクラブより
四面・・・お勧めの本・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
						1 つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週：月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は子どもセンター【TEL25-4415】まで 児童館 ⇒ 月~金 10:00~11:50 開放 詳細は：TEL25-7575まで ひよこクラブ ⇒ 詳細はつどいの広場と児童館に掲示してあるポスターをご覧ください。 問合せは、子どもセンター【TEL25-4415】まで
2	3 🌸	4 🌸 えんぜる編集会議 11:00~	5 おはなし「たんぽぽ」 11:00~11:30 対象：3歳未満	6 🌸	7 🌸	8
9	10 🌸	11 🌸	12 🐣 ひよこクラブ	13 🌸	14 🌸	15
16	17 🌸	18 🌸 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	19	20 🌸 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター多目的ホール	21 🌸	22 絵本の会はらっぱ 11:00~11:30 対象者：どなたでも
23	24 🌸	25 🌸 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	26 🐣 ひよこクラブ 消防署見学	27 🌸	28 🌸	29
30	🌸		🌸			

☆ 「リサイクルの日」は大変好評で、毎月多数お越しいただいています。また、多くの寄贈品を頂いております。ありがとうございます。

☆ 「えんぜる編集員」募集中☆

子育て世代の編集委員を募集しております。ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

(足寄町教育委員会 生涯学習室生涯学習担当 長江・松村・福原 ☎0156-25-3188)

大好き🍓足寄のイチゴ

今月は足寄町の新たな特産品として注目されている「イチゴ」について、足寄ぬくもり農園の佐々木さんにお話を伺ったので、その内容をお届けします。

現在 16 棟のビニールハウスで、4 品種・約 27,000 株のイチゴが育てられています。本来、本州では冬に収穫するのが一般的です



が、ぬくもり農園では一年中収穫ができる様に、冬は温泉の熱を利用した温度管理をし、株の植え替えもしながら、手間ひまをかけて育てています。ここで一番多く栽培している「信大 BS8-9」という品種は四季成りでとっても甘〜い分、柔らかくデリケートなので、機械化ができず一粒一粒手で収穫し、選別も手作業で行っています。また、白くて可愛い「天使のいちご」や他の品種も同様に、葉っぱを取ったり花の間引きを行ったりして株が疲れないよう管理しており、一つの株から一回で収穫出来るのは3〜5粒程度なのです。本当に貴重な一粒ですね。

農薬の使用回数を減らすために天敵農法も用いて害虫の防除に取り組んでいます。また昨年夏の猛暑の影響を受けて、暑さに弱いイチゴは収穫量

が減ってしまったため、今年は暑熱から守るための対策を予定しているそうです。そして、子育て世代のママ達もパートとして働きやすい時間を設定することで、人材の確保にも努めています。このように、美味しいイチゴを安定供給できるよう、たくさんの課題を乗り越えて来ています。

さらには、町内の子ども達の食育の一環として、保育所やひよこクラブ、冒険王などの収穫体験の受け入れにも協力しています。参加したお子さんもいるでしょうか？



ひよこクラブの収穫体験の様子

熱い情熱と努力の甲斐あって、現在は多くの注文が集まっています。収穫したものはほとんど行き先が決まっていて、JA 直売所や十勝管内のケーキ屋さん、道内の企業などに出荷されます。着実に足寄町の特産品として歩みを進めていますね🍓

最後に・・・甘くて美味しいイチゴが一年中食べられるなんて、足寄町民で良かった〜♪と喜びを噛みしめる編集員 Y でした(笑)🍓

☆子育てエッセイ☆

「世界で最も過酷な仕事」

役職は現場総監督。24時間365日の労働。場合によっては夜通しで取り組みなければならぬ可能性あり。仕事中は特に休憩時間はない。

無償。医学、金融、そして調理のスキルが必要。・・・条件が次々に提示され驚くが、すでにこの職業に就いている人が10億人もいる。

「職業「母親」」

SNS上で「泣ける」と話題になったのが2014年頃なのでご存知の方も多いかもしれませんが、一度は見たい動画です。お母さんの日々がこんなにも過酷だったなんて。それはストレスも溜まるし、一人の時間も欲しくなるし、褒めて欲しい気持ちにもなる。

世界中の、日本中のお母さん、足寄で子育てしているすべてのお母さんへ。いつもありがとう。母の日は終わったらけれど、心身共に健康でいてください。世界で最も過酷な仕事に就いていることをだまに思い出して、自分を労って過ごしたいものです。



休憩室

『濃厚いちごスムージー』

【材料】(2人分)

- いちご70g(多い方が濃厚です!)
- ヨーグルト 1個(110g)
- オリゴ糖(砂糖) 小さじ 1/2
- 氷

【作り方】

- 1 いちごはよく洗いヘタを取る。
- 2 材料は全てミキサーに入れ攪拌する。
- 3 コップに移し完成!

<コツ・ポイント⇒生のいちごをのせれば豪華になります♪>



ひよこクラブより



みなさん、こんにちは。4月から新しいメンバーが増え、楽しく活動をしています(^^) 今年のひよこクラブも、みなさんに楽しんでもらえるよう、様々なイベントを企画しています!是非、たくさんのご参加をよろしくお願いいたします(^^)

直近3ヶ月の予定をお知らせいたします。当日の参加もOKです。

☆6月26日消防署見学、7月17日遠足、8月28日夏祭り☆

秋には、運動会や野菜収穫、冬には音楽会やいちご狩りなども予定しています。はじめの一步は、なかなか勇気がいりますが、是非足を運んでみてほしいです(^^) みなさん温かく迎えてくれますよ~(私もそうでした^ ^)一緒に楽しみましょう~♪

問合せ先：子どもセンター【Tel25-4415】

私が見つけたお勧めの『本』

『親子で笑顔になれる “魔法の手作りおもちゃ”レシピ』

著者/佐藤 踏 出版社/宝島社

子どもに色々なおもちゃを試しましたが、買ってすぐに飽きてしまい、どんどん増えて山盛りに。あるあるですね(笑)そんなママにオススメします!

踏さんの実体験から生まれた手作りおもちゃは、子どもの習性を上手に取り入れてあり、簡単なのに子どもの食いつきが良くてびっくりしますよ!

顔認識機能は早いうちからあるらしく、顔の絵や写真を貼るだけでベビちゃんには立派なおもちゃになるらしい。私これ試せなかったので、どなたかトライしてみてください!

この本今は絶版のようですが、『ふきさんのアイデアおもちゃ大百科: ひらめいた! 遊びのレシピ』出版/偕成社など佐藤踏さんの本は色々出てるので検索してみてくださいね☆



『 “どうぞのいす” と “ごろりんごろんころろろろ” 』

作/香山美子 絵/柿本幸造 出版社/徳間書店とひさかたチャイルド

私が子どもの頃から大好きな“どうぞのいす”。その続編としての“ごろりんごろんころろろろ”の紹介です。

“どうぞのいす”は、親切なうさぎさんが作りたいすと、そのいすにやってくる動物たちのお話でした。“ごろりんごろんころろろろ”では、このうさぎさんの親切さに、さらに動物たちの優しさやうさぎさんの友達への思いやりが加わり、読み終わった後には、心にあたたかい気持ちが残るような絵本になっています。



編集後記

訳あって、音信不通だった娘と10年ぶりの交流が始まりました。

先日、誕生日を祝おうと自宅へ招待すると、彼氏とふたりで泊まりに来た娘。21歳を迎えた娘は、我が家のブックスタンドにある絵本たちを見て『懐かしい〜』と連発し、その中から『これ好きだった〜』と『どうぞのいす』を手に取りました。すると、隣に座る彼が読み聞かせを始めました。読み終えると次に娘が『ごろりんごろんころろろろ』を読み聞かせし、穏やかに平和な時間が流れました。

絵本に限らず、時代や時間に関係なく、良いものそして親子の絆も受け継がれていくものなんだと感じながら、ふたりの様子を見守り、しあわせをかみしめていた母なのでした。

(編集委員 S・E)

